



さかいっこ かけはし通信



No.11 2026.4 堺市幼児教育センター

新年度になり、小学校には新1年生が期待に胸を弾ませ、入学してきました。こどもが安心して学校生活を送りながら、幼児期に培った力を発揮し、さらに伸ばせるよう、各校ではスタートカリキュラムが実践されています。取組の一例を紹介します。

(3月末) 学校生活スタートに向けて
園の先生、新1年生の先生、管理職の先生、架け橋コーディネーター

打ち合わせ

園では自分で考える
ということを大切に
してきました。



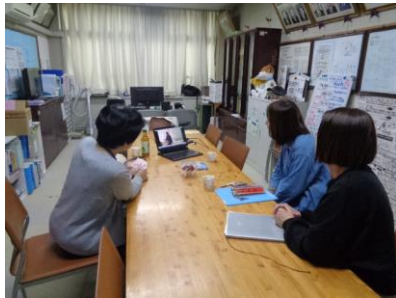
1年生でもその力を
伸ばしていきたいです。

「園ではどうだった？」と
こどもに聞きながら
進めるといいですね。

5歳児では、自分たちで考えを出し合いながら遊びや生活を進める様子があったという、園の先生方の話をもとに、学校生活のスタートを考えています。

(4月 入学式前) スタートカリキュラムについて
新1年生の先生、管理職の先生、架け橋コーディネーター

先生方が、立場の違いを
超えてこどもの育ちを
考えているね。



DVDを視聴しています。
「つなげよう！架け橋期～主体性を発揮する
幼児教育と小学校教育～」
企画・制作「幼保小架け橋」映像製作委員会



登校後の自由遊びのコーナーに使
えそうなテーブルやおもちゃなど
を探しています。

こどもたちが主体性を発揮して育っ
ていく姿を記録したDVDを視聴し、
「スタートカリキュラムで大切にしたいこと」を明確にしています。

安心して学校生活を送り、
自己発揮できるように・・・
・登校後の過ごし方は？
・わかりやすい表示は？
・教師の声掛けは？
・こどもの思いを引き出すには？

視覚支援

「がっこうの？」

4月9日・14日

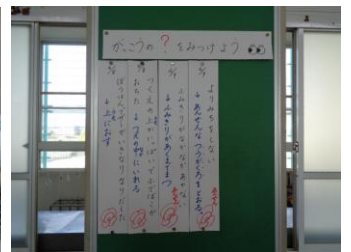
好きな遊び



教室の中で、パズルや紐通しをしたり、図鑑を見たりしています。



登校後の身支度の順序、お道具箱の整理の仕方、授業の始まりや帰る用意の時刻などをイラスト等で示しています。



「踏切がなかなかあかないけれどどうしよう？」というこどもの声から、安全な登下校の話につなげています。

こどもが安心して学校生活を送り、見通しをもって自分で考え行動できるように、先生方の工夫がたくさんあります。こどもの問いから学びがスタートするような、「がっこうの？」の短冊がどんどん増えると素敵ですね。